

# 生活科学習指導案



- 1 日 時 令和3年10月28日(木) 第5校時
- 2 場 所 2年生教室
- 3 学 年 第2学年 男子8名 女子3名 計11名
- 4 単元名 「町のすてきつたえたい」
- 5 単元について

## ○単元観

本単元は、学習指導要領の内容(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。」を受けて設定したものである。

本学級の児童は1学期の町探検で、季節感を感じたり、興正の工場長や駐在さんにインタビューを行い、地域の人々とのふれあいを深めたりしてきている。そして、地域で関わった人のことや心に残った出来事を、三和小の児童に手紙を書いて伝えたり、町探検カルタを作って、保護者と一緒に行ったりといった活動をしている。

2学期の、「もっと知りたい町探検」では再度町探検に出かける計画を立て、実行し、町の人や場所・ものに関わりを深める。本単元は、繰り返し保護者や三和小の児童に伝える活動を通して、人との関わりの中で、互いの立場や考えを尊重し、目的意識や相手意識をもって多様な方法で交流することができる単元である。

また、学校経営構想のキーワードが「表現する」であり、学校として求める児童の姿に近づけることができる。

町探検で見つけた自分たちの感動や驚きを伝えるために、どのような方法ですればよいか理由をつけながら考えを出し合い、協働して取り組むことで課題解決力を培うことができる。さらに、三和小の発表を聞くことにより、地域の人に伝えるときにはもっと工夫できるのではないかとふりかえり力を働かせて自分たちのこれまでの取り組みを見直し、新たな課題を発見して改善していく楽しさを感じさせることもできる。

## ○児童観

本学級の児童は、1学期と2学期に町探検に行き、町のすてきを見つける学習に取り組んできた。

1学期の町探検後の三和小の児童に手紙を書いて伝える活動では、「返事が返ってきてうれしかった」や「次に町探検に行ったら、また三和小の子に伝えたい」などと言っており、伝えたことに肯定的な考えをもっている児童が100%であった。

本学級の児童に、アンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		1学期			
		2学期			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	8	3	0	0
		9	2	0	0
2	友達や地域の人が悩んでいたら助けてあげたいと思います。	10	0	0	1
		10	1	0	0

3	「たぶんこうではないかな。」「こうすればできるのではないか。」と考えています。	8	3	0	0
		8	3	0	0
4	課題をとくために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。	6	3	2	0
		6	5	0	0
5	調べる前に、どんな方法で調べるといいか考えています。	5	5	1	0
		9	2	0	0
6	相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。	6	5	0	0
		8	3	0	0
7	調べて分かったことを、図などにまとめています。	11	0	0	0
		11	0	0	0
8	調べたことや友達の意見を比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	11	0	0	0
		10	1	0	0
9	友達と話し合うなどして、新しい考えに気付くことができます。	8	3	0	0
		9	2	0	0
10	自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。	5	4	1	1
		1	10	0	0
11	自分の考えを進んで伝えています。	7	4	0	0
		8	3	0	0
12	友達と話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。	5	5	0	1
		2	8	1	0
13	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	8	2	0	1
		9	2	0	0
14	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	4	5	1	1
		9	2	0	0

アンケート結果から、肯定的な評価をする児童が増えている。しかし、10と12の項目については、「あてはまらない」と答えた児童はいなくなったが、「よくあてはまる」と答えた児童が5・5人から1・2人と少なくなり、「あてはまる」と答えた児童が10・8人と増えている。これは、他の教科においても根拠をつけて発表することを意識させてきたことにより、設問の意味が児童にとって具体化したことにより、自分の考えに理由をつけてうまく伝えられなかった経験が意識されるようになり否定的に捉えるようになったと考えられる。

14の項目については、肯定的な評価をした児童が1学期より大幅に増えている。これは、全ての教科において授業の終わりに振り返りをし、学び方の良かったことや今後の学習でしてみたいことを書いている児童の表現を紹介しながら評価してきたことが効果的だったと考えられる。

授業の様子をみても、自分の考えを長く話して、相手に伝わらなかったり、発表途中で自信がなくなり、黙ったりしている児童も見られる。

#### ○指導観

指導に当たっては、まず、これまでの探検カードや絵地図などの作品を整理させたり、自分の見つけた町のすてきや、紹介した方法を振り返ったりすることで、町に対する興味や関心を高めさせていき

い。

次に、町探検でお世話になった地域の方と、三和小学校の2年生に伝えることを伝え、目的意識や相手意識を持って活動を行わせたい。1学期に、三和小学校に手紙を書き、返事をもらった経験から「もっと伝えたい」と感じている児童も多いため意欲的に学習に取り組めるのではないかと考える。

町探検でお世話になった地域の方には、手紙や動画を送って感謝の気持ちを表現させたい。

三和小学校の2年生への発表では、表現方法を考える際、伝える相手から「どのような方法で伝えられたらうれしいのか」をアンケートやインタビューすることでより相手意識を持てるようにする。そして、自分の考えを発表させる前には、理由を書かせる時間をとったり、事前の交流で友達のリ由づけのよさを見つけさせたり、また話型を提示するなどして、自分の話し方に自信が持てるようにさせる。そして、自分たちの考えた方法で三和小学校の2年生に発表会を行い、三和小学校の発表も聞くことで、情報が双方向に行き来できるようにさせたい。このような経験から相互の違いを認めて理解し合うことや受け入れることの重要性にも気付けるのではないかと考えている。

振り返りの時には視点を与え、したことだけを振り返るのではなく、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」を考えられるような振り返りとなるようにしていきたい。

## 6 単元の目標

○これまでの町探検で気付いたことや季節を通しての町や人々の様子、多くの人との関わりや交流について、まとめたり、身近な人たちと伝え合ったりする活動を通して、自分たちの町の良さに気付いたり、町やそこに住む人々への愛着をいっそう深めたりすることができるようにする。

## 7 本校で育てようとする資質・能力の具体

課題発見力	自分のまわりから不思議を見つけている。
課題解決力	自分の考えをもって表現している。
ふりかえり力	できたこと、わかったことを振り返っている。

## 8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校でつけた資質・能力		課題発見力・課題解決力	ふりかえり力
単元の評価規準	・季節を通しての町の様子が分かり、町のいろいろな「すてき」に気付くとともに、町への親しみや愛着が増したり、人々と適切に交流することができるようになったりした自分自身の成長に気付いている。	・町探検で気付いた町の良さや人々と関わることの楽しさについて考え、自分なりの方法で表現したり、発表したりしている。	・季節を通しての町の様子に対する関心や、町の人々や様々な場所に対する親しみをもって、これまでの町探検のまとめをし、友達や町の人々と伝え合おうとしている。

<p>単元の評価規準の具体</p>	<p>①町探検を振り返り、町の人の願い・おすすめ・工夫や、そこに住む人々との関わることの良さや楽しさに気付いている。</p> <p>②春と秋の町探検の活動を通して、町の人や物との関わりが深まり、自分自身も成長したことに気付いている。</p>	<p>①町探検で見つかりたり聞いた感じたりしたことを関連付けて、町の人の願い・おすすめ・工夫について考えている。</p> <p>②相手意識や目的意識をもって伝え方を選んでいる。</p> <p>③伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝える内容や伝える方法を決めている。</p> <p>④相手意識や目的意識をもって、分かりやすい伝え方を工夫して、伝え合っている。</p>	<p>①町のすてきを伝えたいという思いをもって、町探検で見つけたことや分かったことを自分なりに表現したり、まとめたりしようとしている。</p> <p>②町のすてきを多くの人に広めたいという思いをもって、展示や発表を工夫し、みんなで発表会や交流会を楽しもうとしている。</p>
-------------------	--	--	---

9 ルーブリック

A	B	C
<p>三和小の子を想像したり、分かりやすいかを考えたりして、よりよい表現方法を考えたり、選んだりすることができた。</p>	<p>三和小の子を想像したり、分かりやすいかを考えたりして、表現方法を選ぶことができた。</p>	<p>三和小の子を想像したり、分かりやすいかを考えたりして、表現方法を選ぶことができなかった。</p>

10 学習過程ごとの主な学習活動と評価規準（全12時間）

次	主な学習活動	評価規準 (評価方法)
一 (3時間)	<p>【小単元の目標】町のすてきをあつめよう これまでの町探検を振り返り、自分たちの町にはすてきな人や場所がたくさんあることに気付くことができるようにする。</p> <p>○これまでの探検カードや絵地図などの作品を整理する。(1)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">思い：町のすてきてたくさんあるんだな。</span></p> <p>○自分の見つけた町のすてきを考え、紹介し合う。(2)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">思い：町のすてきをだれかに伝えたいな。</span></p>	<p>○町探検を振り返り、町の人への願い・おすすめ・工夫や、そこに住む人々と関わることの良さや楽しさに気付いている。(ワークシート)</p> <p>○町探検で見つかり聞いたり感じたりしたことを関連付けて、町の人への願い・おすすめ・工夫について考えている。(発表)</p>
二 (5時間)	<p>【小単元の目標】すてきをつたえるじゅんぴをしよう 町の人への願い・おすすめ・工夫などの自分たちの住む町の良さを、伝えたい人や伝えたい内容に合わせて工夫してまとめることができるようにする。</p> <p>○自分の伝えたい内容や伝える相手に適した伝え方を決める。(2) (本時)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">思い：相手が喜ぶ方法で町のすてきを伝えたいな。</span></p> <p>○町のすてきについてみんなで考えた方法でまとめる。(2)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">思い：もっとこうすれば三和小の子が分かりやすいんじゃないかな。</span></p> <p>○発表会の準備や練習をする。(1)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">思い：相手に伝えるのが楽しみだな。来見の町のいいところを分かりやすく伝えたい。</span></p>	<p>○相手意識や目的意識をもって伝え方を選んでいる。(発表・振り返り)</p> <p>○伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝える内容や伝える方法を決めている。(発表・作品)</p> <p>○町のすてきを伝えたいという思いをもって、町探検で見つかったことや分かったことを自分なりに表現したり、まとめたりしようとしている。(作品・行動・振り返り)</p>
三 (3時間)	<p>【小単元の目標】町のすてきはっぴょう会をしよう これまでの町探検のまとめとして、個人やグループで展示や発表の方法を工夫し、招待した人たちとともに町の良さにあらためて気付くことができるようにする。</p> <p>○町のすてき発表会の準備や最終確認をする。(1)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">思い：もっと笑顔でした方がよろこんでくれそうだね。いい会にするために頑張ろうね。</span></p>	<p>○町のすてきを多くの人に広めたいという思いをもって、展示や発表を工夫し、みんなで発表会や交流会を楽しもうとしている。</p>

	<p>○町のすてき発表会を行い，招待した人と感想を伝え合う。(2)</p> <p>思い：相手は話を分かってくれているかな。</p>	<p>る。(発表・行動)</p> <p>○相手意識や目的意識をもって，分かりやすい伝え方を工夫して，伝え合っている。(発表・行動)</p>
<p>四 (1時間)</p>	<p>【小単元の目標】町探検をふりかえろう</p> <p>これまでの町探検を振り返り，自分たちの町への愛着が深まっていることに気付くとともに，身近な人と関わることの楽しさを感じたり，適切に関わることができるようになったりした自分の成長に気付くことができるようにする。</p> <p>○年間を通した町探検や町のすてき発表会を振り返る。(1)</p> <p>思い：町の人にあいさつができるようになったよ。 前よりも町のことが大好きになったよ。</p>	<p>○春と秋の町探検の活動を通して，町の人や物との関わりが深まり，自分自身も成長したことに気付いている。</p>

〔観点は，「7 単元の評価規準」による〕

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

相手意識や目的意識をもって伝え方を選ぶ。

(2) 本時の評価規準

相手意識や目的意識をもって伝え方を選ぶことができる。

(3) 準備物

〔指導者〕 インタビュー動画（事前に三和小で写しておく）

表現方法の掲示物

〔児童〕 ワークシート

jamboard

(4) 学習の展開 (5 / 12時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◆支援を要する児童への配慮)	評価規準および 判断基準(方法)
1 本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>三和小の児童に来見の町のよいところを伝えることを確認する。</li> <li>1学期に三和小の子に送った手紙の返事からもっと分かりやすい発表にしたいと考えたことを振り返り，目的意識をもたせる。</li> </ul>	
三和小の子に来見のすてきを分かりやすく伝えるために気をつけることはなんだろうか。		
2 前時で考えたものを見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに jamboard にワークシートの写真を貼り付けておき，他の児童の考えを読んで理解させる。</li> </ul>	
3 同じ考えをもったグループで	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさを視点によりよい方</li> </ul>	

<p>話し合わせ、よりよい考えにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙に写真をいれるともっと分かりやすいね。</li> <li>・劇はポケモンのをそのままするのがいいと思うよ。</li> </ul> <p>4 三和小学校へのインタビューを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見ると分かりやすい。</li> <li>・劇を動画で見たいな。</li> <li>・前の手紙が楽しかったな。</li> <li>・いっしょに遊べるようなものがある。</li> </ul> <p>5 動画をふまえて、どの考えが一番よいと思うか考えを書かせる。</p> <p>6 全体で話し合わせ、考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三和小の子は写真があったら分かりやすいと言っていたから、1グループの考えがいいと思うよ。</li> <li>・劇を動画でとるのも三和小の子が楽しく見られそうだから1グループのと2グループの両方するのはどう？</li> </ul> <p>7 まとめ</p>	<p>法を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆分かりやすい意見にするために、結論から言わせるようにする。</li> <li>・グループ全員が意見を言うように伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく伝えたいと意欲をもたせるために、相手の顔が見えるインタビューを動画で見せる。</li> <li>◆聞くことが苦手な児童のために、どんなことを言っていたか発表をさせ、板書しておく。</li> <li>・インタビューを見ることで「相手が喜んでくれるにはどうすればいいのか」という視点（相手意識）が必要だと言うことに気付かせる。</li> <li>◆考えがもてない児童には、インタビューでの要点をもう一度伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの表現の仕方がいいと思うか考えを一つにまとめさせる。</li> <li>・みんなが納得いく考えをつくるために理由も言わせるように声をかける。</li> <li>・三和小の2年生への表現方法が複数になっても視点がぶれていない場合はよしとする。</li> <li>・全員が納得できるような理由をつけることで、今後の活動に意欲をもたせる。</li> <li>・分かりやすさだけでなく、相手意識をもって考えをまとめられた成長に気付かせる。</li> </ul>	<p>○相手意識や目的意識をもって伝え方を選んでいる。（発表・振り返り）</p>
<p>分かりやすさと三和小の子が楽しいと思うかを考えるとよい。</p>		
<p>8 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三和小の子が喜んでくれそうな表現方法を考えたから B です。</li> <li>・〇〇さんと〇〇さんの考えを組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習をふりかえらせ、次時に期待をもたせる。</li> <li>・ルーブリックをふまえた振り返りにさせる。</li> <li>・次時からの見通しを立てておく。</li> </ul>	

<p>合わせて考えられたから A です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日考えた方法で、発表の準備をするのが楽しみ。</li> <li>・ 三和小の子がよろこんでくれるように準備をがんばりたい。</li> <li>・ 三和小学校の子の気持ちになつて発表方法を考えなくてはいけないことが分かったから B。</li> </ul>		
---	--	--

1.2 板書計画

10 / 28町のすてきたたい

**か** 三和小の子に來見のすてきを分かりやすく伝えるために気をつけることはなんだろうか。

A	B	C
三和小の子を想像したり、分かりやすいかを考えたりして、よりよい考え方を考えたり、選ぶことができた。	三和小の子を想像したり、分かりやすいかを考えたりして、表現方法を選ぶことができた。	三和小の子を想像したり、分かりやすいかを考えたりして、表現方法を選ぶことができなかった。

大

①手紙  
写真をいれると  
もっと分かりや  
すい。

②動画  
動いて説明した  
方が分かりやす  
いと思つたか  
ら。

③劇  
ポケモンのをそ  
のままするのが  
分かりやすい。

④会う  
実際にあつてカ  
ルタしたら分  
かりやすい。

③→三和小の子も楽しめそう  
②→写真を入れてほしいと三和小の子が言つていたから。  
写真は劇の中にも入つている。

つたえる人のことを考える

写真

写真

写真

ま

ふ

写真を見ると分かりやすい。

劇を動画で見たいな。

前の手紙が楽しかつたな。

分かりやすさと三和小の子が楽しいと思ふかを考えるとよい。